

会議録

■会議名	倉敷市社会福祉審議会民生委員適正配置検討専門分科会
■日時	令和3年10月4日(水) 10:00~11:35
■場所	倉敷市役所 3階議会特別委員会室 出席11名
■出席者 委員	中川委員, 沼本委員, 新垣委員, 佐藤委員, 長櫓委員, 内田委員, 岡野委員, 時尾委員, 江良委員, 片岡委員, 浅野委員
市関係者	藤原保健福祉局長, 小野社会福祉部長, 廣畑福祉援護課長, 吉岡福祉援護課長代理, 大野児島保健福祉センター福祉課長代理, 大熊玉島保健福祉センター福祉課長代理, 若狭真備保健福祉係長, 千代延水島保健福祉センター福祉課長代理, 内田福祉援護課主事
■傍聴者	0名
■報道機関	0名
■議事	<ol style="list-style-type: none"> 1 民生委員適正配置検討専門分科会長の選出について 2 副分科会長の指名 3 諮問 4 民生委員適正配置について <ol style="list-style-type: none"> (ア) 民生委員・主任児童委員の配置基準について (イ) 民生委員の現状・他都市の状況 5 適正配置に関する計画策定方針について 6 審議日程について 7 その他

■議事(協議内容)

発言者	発言要旨
	委嘱状交付 倉敷市藤原保健福祉局長
	分科会長の選出 互選により新垣委員が分科会長に選任された
	副分科会長の指名 江良委員が副分科会長に指名された
分科会長	協議事項4(4)民生委員適正配置について、事務局の説明をお願いします。
事務局	資料説明(割愛)

分科会長	<p>3年に一度の民生委員児童委員の一斉改選が令和4年12月1日に行われます。その1年前にこの専門分科会を開催することになっていますが、前回H30年度の専門分科会は西日本豪雨災害のため会議は一度しか行われず、H28年度の一斉改選790名から変更はありません。その間地域によりましては高齢化率が進むとか世帯数や児童数が増減するなど地域の間における民生委員・児童委員一人当たりの不均衡が発生しています。これは少し余談になるかもしれませんが、先日私宛に差出人名はなかったのですが、ある地区のお住まいの方から手紙が届きました。そこには一人暮らしのご高齢の友人の困り事が4項目ほど書かれていて、それに丁寧に対応して頂けない民生委員がいて対応して頂けない事への不満や不安が書かれていた一方で、一生懸命住民に寄り添って相談や支援のために活動をして下さっている民生委員がいる事に感謝の言葉も綴られていました。地域間の配置の不均衡がこうした活動の量の不均衡に繋がる可能性があるので、適切な配置がされることがかなり大事だと感じました。こういったことも踏まえまして本分科会員の皆様方には、より適正な民生委員児童委員の配置につきまして会議へのご意見などご協力頂きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、協議事項4(4)の民生委員適正配置について事務局の説明をお願いします。</p>
事務局	(資料説明)
分科会長	<p>ただいまの事務局の説明について委員の方々のご意見はございませんか。</p> <p>なければ、審議事項4(5)適正配置に関する計画策定方針について事務局からの説明をお願いします。</p>
事務局	(資料説明)
分科会長	<p>前々回H27年度に策定された適正配置計画については、高齢者世帯・災害時要援護者数・面積等の要因を勘案したうえで地域の要望も取り入れ調整をした結果、全体で23名の増員となっています。</p> <p>前回のH30年度は災害対応のため協議が出来ておりませんので、その間の世帯数の増加や高齢化率の進行など様々な要因により、単位地区間における民生委員・児童委員1人あたりに対しての不均衡が発生しております。区域を担当する民生委員1人あたりの負担の不均衡をなるべく是正することを目標とし、計画に従って調整をしてはどうかと思っておりますが委員の方々のご意見をお聞かせ下さい。</p> <p>別に無いようなので、事務局のほうから何か案がありましたら願</p>

<p>事務局</p>	<p>いします。</p> <p>(資料説明)</p> <p>説明以外にも要望人員が10月末に出てきますので、個別に要因等がありましたら加味しますので必ずしも機械的に行こうとは思っていませんし皆様のご意見を伺いたいと思っています。</p> <p>例えば「〇〇地区でプラス5人出して下さい」と、言っても推薦する側も非常にご苦労されます。なので、そこは参酌基準がありますので、以前は従うべき基準なので5人増やした形で答申しないといけなかったのですが、地域の会長の話も聴きながらアンケート結果を尊重して民生委員・児童委員・主任児童委員の2増1減で対応したいと考えております。</p>
<p>分科会長</p>	<p>このことにつきまして委員の方のご意見を伺いたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今の増減については改正されるためには私は賛成ですが、私の経験した中で、減になった所が自然減ではなくて強制減になった所で「じゃあ、いったい誰が辞めれば良いか」というような事で、会長や皆さんが困ってしまい、会長とか副会長が「わしが辞める。私が辞める。」ということになりまして最終的には落ち着いたと思います。そういう事もあって非常に皆一生懸命やっているのに「私の所は少ないから辞めなければならないのか」という事もあるので、その辺は慎重に動いてもらいたい。</p> <p>私たちの琴浦東地区で人数は少ないが、逆にいえば琴浦北地区で民生委員が一人バイクで走って行っていますが、そういうところに人数1人いれられてもそこで増やす訳にはいかず皆で均一に持ち分を持って、色々考えた場合、各単位のテリトリー、担当区域を作るのも大変な作業です。</p> <p>全部を見直していくということで1回は減らされ次は増やされると大変な苦労をした事があります。増減に関してはダメなんだ。という所までは持っておいて欲しい。地域の民生委員にとっては安堵するところですよ。それよりも人数を増やしてくれる方が良いんだ。という所はそれで構わないと思います。その辺は慎重にして欲しいです。</p>
<p>委員</p>	<p>今までの説明の中で増減に関しても良くわかりました。わかる範囲で教えていただきたいのですが、前回は改定がなかったという事で、少し気になったのが、倉敷でいうと、南・東・中庄については4人、欠員数が児島を除いてほぼ水島・玉島が出ていると思いますが、その理由は何でしょうか</p>

事務局	<p>欠員数ですけども、期の途中でご病気になられて出来ない。と言われて辞める方もいらっしゃいます。</p> <p>中庄地区でしたら大きい公営住宅があります。県営団地と市営団地と。あそこから中々民生委員が推薦されなくて昔から民生委員をされる方もいらっしゃいますが、お世話する側よりもされる側の方が多くて中々推薦されなく欠員になっているという所があります。</p> <p>万寿東は主任児童委員が最初選ばれていましたが、途中で体調不良で出来なくなって辞職された。民生委員の平均年齢は63～65歳の間だったと思います。仕事の関係で現役の方でされる人は非常に少ないです。退職をされてからする方が多いのですが段々と定年退職が65歳になったり、その後することになったら体調の関係とかで民生委員になってから病気になった方もいらっしゃって、次の方を選ぶとき中々推薦されないというような感じになっています。</p>
委員	<p>まさに特定の地区に欠員の出る地域に於いては、推薦がすごいさらに難しくなるのではないかと予想されます。適正配置も当然さることながら適正な人の推薦というのを地域で推薦準備会が行われると思うけど非常に難しくなっているのではないのでしょうか。特に欠員の出た地域は難しくなって来ると思っています。</p>
分科会長	<p>先ほど委員から現場の実情をお話頂いた上でご意見をまとめました。色々な条件で単に調整をして良いのかという問題についてですけど、その事と適正な人を選ぶことも大切ということがわかりました。皆さんの方からご意見があればいただきたいと思います。</p> <p>確かに3年ごとに減したり、増やしたりはまずいのかな。それについては慎重にしようと思います。</p> <p>琴浦東についてはこの案の中では3要因について調整して問題はないですか。</p>
事務局	<p>この表で言いましたら、この状態だけで言いましたら減る可能性があるとするれば倉敷だと西地区、前回6年前も1人減って今回も△1です。機械上計算しただけです。水島地区は水島(単位)地区が前回△1で今回は△2になっていてこの辺が厳しいです。第1福田と第5福田については3増えて△3は担当地区ごと人が移動しているので増減無と考えるのであればよいと思います。前回も6年前も9年前に増えた所は6年前に減ったとしてもプラマイ0にしています。と、記録が残っています。2回続けてマイナス・マイナスとなったら減らざるを得ない感じです。</p>
委員	<p>真備と真備東ですが、6年前に減らされてその時は辞められる方が</p>

事務局	<p>おられて、その地区を推薦準備委員が探さなくて良くて、結局今までの地区が空いたので、遠いですが私が担当することになりました。それで、また増やして下さい。と、要望を出しました。そうしたら、6年前に要望が通り1人増えました。本当に減したり増やしたりされたら民生委員が丁寧に歩けない気がします。</p> <p>このまま行けば真備地区は前回増えて今回減るので増減無になると思います。(3要因については資料を参考に説明) 今、現在の最終的な数字は3要因を加えた所までです。第3福田については資料を参考に説明3要因を加えた調整数です。</p> <p>アンケート締切が10月末なので次、2回目を日程調整させて頂こうと思いますが、11月末位にさせて頂こうと思いますので、その時には要望人員の入った叩き台位を出せると思っています。</p>
委員	<p>水島地区の水島(単位)地区の事ですが比べる区分はH27年6月とR3年6月で、前は連島1丁目が水島に入っていたような気がするのですが、それが抜けて連島に変わったような話を伺っていますが、その分で面積も減って人数が減っている影響があるでしょうか。</p>
事務局	<p>この単位民児協が必ずしも水島小学校校区とドンピシャリじゃないです。その関係で出入りを計算させては頂いていますが、連島1丁目が入っているか入っていないか調べさせて下さい。</p>
委員	<p>マイナスが出ている話を伺っていますが、担当者地区をある程度知っていた方が良くと思うので、出来たら3要因を言うのであればマイナスしないような方向で調整出来れば良いと思います。もし、民生委員がお世話しないといけない事もあり、欠員もあるし中庄団地などは大変なのではないですか。</p>
委員	<p>中庄団地などは他の地区から応援に行くので大変です。</p> <p>今回は民生委員の現実・実情をアンケートで取ってきますけど、それをベースにしっかりとしたベース案としてもらうのが我々としては一番ありがたいです。</p>
事務局	<p>私達は、机の上でしか仕事が出来ていけませんので、現場・現場が足りないのか又は、多いというのはないと思いますが、足りない度合いがわかりません。170～360世帯が中核市の参酌すべき基準を国から出しています。360世帯よりも少ない所でも皆さん平均して313世帯持っている訳ですが、1人は200世帯、1人は450世帯持っている方もおられます。1人で450世帯持っている所はしん</p>

	<p>どいのでなり手がいない。と、言う話も聞きますので、そこにもう1人、入れてどのように割るのかわからないですが、実態に即した感じで増やした方が良いのかな、と個人的には思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>分母は別に動いても良いのですか。790がしがらみであって790は市で決まっている数だから、児島を10減らして水島を10増やさないという事ですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>その様な事はないです。</p>
<p>委員</p>	<p>その様な事はないのですね。分母は動かせないものだと、そのようなとらわれ方を聞いたのです。その様な事がないなら増やして下さい。</p>
<p>事務局</p>	<p>今は、条例で790人が定数になっています。3年毎にこの分科会で決めて、この流れで行けば例えば、10人増えて答申をしたら800人になり、市長に対してこれだけ増やして下さい。と、この審議会で結論として出して頂く訳ですから、800人になれば来年6月の議会のときに補正予算で補助金の要求と定数の条例を変えます。と、いう事で議案をあげる作業はしますので、790が有りきではありません。だから、先ほど委員長が言われたように前々回、6年前は23人増えています。</p>
<p>委員</p>	<p>その時、分母が増えるというよりも児島が多いから水島とかが少なくなっているんで、そちらにあげて最終的な定数は一緒だという捉え方をしていたので790の数字は動かないと思っていたが、それが可能なら是非お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>主任児童委員を増やしてもらうのにある委員さんが苦勞して各小学校に1人ずつ。前はそうではなかった。</p>
<p>委員</p>	<p>普通人数で各2人でしょう。</p>
<p>委員</p>	<p>玉島地区はそうではなかった。中学校区で単位数作っているんで、1つの中学校で3つの小学校で主任児童委員は2人しかいなかった。そこで各小学校1人ずつに増えた。</p>
<p>委員</p>	<p>定数を増やすのも良いですけど、現状欠員の方々を埋めるだけでも大変な作業なので、そこを優先的に取り組んで行かなければならない作業だと思います。全国でネックになり問題になっています。</p>

委員	<p>余談ですが、民生委員になり手が少ない。ある人にターゲットを絞って推薦に行ったが断られ、次の人にも断られたので、その人は1軒・1軒回り出した。他の地区の民生委員から私の方に電話があり、「民生委員のレベルはこんなに低いものですか」隣・隣に「やってくれんか」「やってくれんか」のレベルなら私は民生委員を辞める。と、言われたので聞いてみると、その推薦準備会委員は若干軽い認知症があった感じと、民生委員は何をすることが把握できていなかった。また、ある推薦準備会委員は「民生委員は何もしなくて良い。なってくればそれで良い」でなった人は、民生委員の仕事がそんな責任のあるとは聞いていない。まあ、それが1期・2期過ぎるとどんどん変わって立派な方になられる。</p> <p>民生委員になる方に関しては民生委員が悪いのではなくて、推薦準備会委員がそういう人を推薦することを真剣に考えていただきたい。欠員が一番恐ろしいので、推薦準備会委員の人も頑張っておさっているのですが、基本的にそこから先がスタートなのでよろしく願いいたします。</p>
分科会長	<p>貴重なご意見がたくさん出たようです。事務局の方でしっかりと今のご意見を今後に向けてよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、様々ご意見が出ました。各委員の方で適正配置に関しての案を次回までに、ご検討いただきたいと思います。</p> <p>それでは、協議事項4(6)の審議日程について事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>会議の方ですけれども今日を含めて4回程度考えています。次の回でアンケート結果などに基づいた民生委員の定数の検討、その次の回が主任児童委員の検討と答申案を作って、最後は答申をこのようにしたいと意見がまとめればと考えています。</p>
分科会長	<p>このことについて、ご意見ございませんか。なければ、「その他」に入ります。その他で事務局の方から何かありますか。</p>
事務局	<p>閉会のあと次回の日程調整をお願いいたします。</p>
分科会長	<p>委員の皆さん方から、何かありませんか。</p> <p>なければ、これをもちまして、民生委員適正配置検討専門分科会を閉会させていただきます。ありがとうございました。</p>

令和 3年11月 8 日

会議録の内容に相違ないことを確認し、ここに署名します。

倉敷市社会福祉審議会民生委員適正配置検討専門分科会

分科会長 新垣 敦子